はつかいち平和の祭典2012
～つなぐ　命・平和～

平和の大切さや命の尊さについて考えてみませんか。
多くの皆さんの参加をお待ちしています。

問合せ　はつかいち平和の祭典実行委員会
（中央市民センター内）
☎㉑1266・FAX㉜1257

オーケストラと歌おう〝ふるさとの四季〟

今年は、広島ジュニアマリンバアンサンブルと四季が丘小学校合唱団も出演します。

なお、四季が丘小学校合唱団が合唱するはつかいちへいわのうた「桜と空に折り鶴を」は、この日のために廿日市市の地元バンド「ムジーク　シュトラーセン」が制作したものです。

とき　7月22日㈰
ところ　さくらぴあ　大ホール
13時30分～15時30分（開場12時30分）
入場料　無料
内容　▼折り鶴受け渡し式▼四季が丘小学校合唱▼朗読▼広島ジュニアマリンバアンサンブル　ステージ▼全体合唱「ふるさとの四季」・「埴生の宿」・「赤とんぼ」
出演　▼広島ジュニアマリンバアンサンブル▼朗読　音訳ボランティアグループつばさ▼オーケストラ　さくらぴあ市民オペラ管弦楽団▼合唱　はつかいち平和の祭典合唱団、四季が丘小学校合唱団

折り鶴運動

今年も、平和への祈りと20万人の犠牲者へ慰霊の心を込めて鶴を折りませんか。届けられた折り鶴は、広島市の平和記念公園内の慰霊碑に捧げます。

受付期間　7月20日㈮まで
受付場所　市内各市民センター・市役所・各支所
折鶴規格　15㎝四方の紙を使用し、25羽を1本の糸で通してください。また、500羽を一単位（20本をひとくくり）でお願いします。

書き損じハガキ回収運動

今年も私たちにもできる世界平和への貢献活動として、書き損じハガキ回収運動を実施します。

1枚の書き損じハガキが45円の募金となり、㈳日本ユネスコ協会を通じ、戦争や内乱、貧困のために学習機会を奪われた人々の学習の場の建設やノート・鉛筆の購入費用としてあてられます。

皆さんのご協力をお願いします。

受付締切　7月20日㈮まで
受付場所　市内各市民センター・市役所1階市民ロビー
※専用の回収箱を備えています

高校生作品展示

高校生の訴える「平和」

地元廿日市市の各高校で、平和への願いを込め、写真、絵画および書を制作しました。高校生のみずみずしい感性で制作された作品をぜひご覧ください。

展示期間　7月18日㈬～22日㈰
10時～18時
展示場所　はつかいち美術ギャラリー
出展高校　廿日市高等学校美術部／書道部、廿日市西高等学校写真部／美術部／書道部、佐伯高等学校美術部、宮島工業高等学校写真部／美術部

第７回菖蒲まつり

初夏を告げる菖蒲（しょうぶ）鮮やかにまつりを彩る

６月10日、永慶寺公園周辺で第７回菖蒲まつりが行われました。

今年から宮島工業高校建築科の生徒さんたちが、オブジェや看板、ベンチを作成し、まつりを盛り上げました。同校３年生の陶山風斗（すやま かざと）さんは「ぼくたち生徒もよい経験ができました」と話します。

会場では、大野産アサリを使った「特製菖蒲まつり弁当」や手作りパンなどが販売され、来場者は初夏の１日を楽しんでいました。

約1,000㎡の敷地に植えられた15,000本以上の菖蒲。ほぼ満開で来場者を迎えました。

平成24年度水防訓練を実施

台風や集中豪雨などの風水害に備えて

梅雨の時期を迎え、市内各地で水防訓練が実施されました。

６月５日、宮島杉之浦で行われた宮島地域の訓練では、市職員や、消防職員、消防団員など約50人が参加。消防職員の指導のもと、土のう作りや、水害時の応急工法の訓練を行いました。

水防訓練は、水防技術の向上を図るとともに、活動を迅速に行えるよう、毎年各地域で行われています。

訓練に使用する土のうを作る参加者。積み土のう工法やシート張り工法を訓練し、水防工法の技術を高めます。

保育園児がイモ植え体験

大きく育ってね収穫が楽しみです

６月11日、阿品台西保育園の園児が、サツマイモの植え付けの農業体験を行いました。

「園児さんたちに農業を体験させてあげたい」と、難波孝五（なんば たかゆき）さんのご好意で、昨年から行っているそうです。

「収穫する時の子どもたちの笑顔を楽しみにしています」と難波さん。園児たちは、「大きくなってね」と声を掛けながら、植え付けを行いました。

秋には、収穫したサツマイモを焼き芋にしたり、給食で出されたりするそうです。

玖島の３人に消防長表彰

林野火災の消火活動に尽力

５月24日、玖島で起きた林野火災の消火活動に協力したとして、有田正吉さん、國廣修一さん、國廣義之さんの３人が消防長表彰を受けられました。

３人は４月29日午前11時頃、防災無線で火災の発生を聞き、現場へ駆け付けました。持参したスコップや木などでたたいて火を消したり、燃え広がらないよう草を刈ったりして消火活動にあたりました。

左から、國廣義之さん、國廣修一さん、有田正吉さん。「不幸中の幸いでした。あれだけで済んでよかった」と３人は話してくれました。

園児たちが稚エビを放流

エビさんたち、大きくなあれっ！

６月７日、梅原漁港と丸石漁港で、梅原保育園、丸石保育園の園児53人がクルマエビの稚エビ約7,500匹を大野瀬戸に放流しました。

園児たちは、まだ表皮が柔らかい５㎝ほどの稚エビに「大きく育ってね」と呼び掛けながら、ゆっくりと海に放していました。

この放流は、海に親しみ、自然の恵みを大切にする取り組みとして毎年行われています。

手にすくって、「かわいい」などとはしゃぐ園児も。このクルマエビは１年後には約20㎝まで成長します。

はつかいち木工まつり

木の温もりに触れ、木の良さを知る一日

６月３日、木材利用センターで「はつかいち木工まつり」が開催されました。

けん玉の製造見学のほか、木工作品の展示・販売や木の競り市、けん玉ミニ大会など、木にかかわるイベントが盛りだくさん。今年は、けん玉を作る際に出る木くずを再活用した「桜チップ」を販売。

会場では、木工体験・飲食コーナーが軒を並べ、子どもから大人まで多くの人でにぎわいました。

恒例の「木の競り市」。威勢の良い掛け声と鐘の音が飛び交う中、市内産材をはじめ、良質の材木が次々と競り落とされていきました。